

経済データで見る「最近の世界経済動向(2012年9~11月)」

* 青字は悪化指数、%は前年比

2012.11.26.現在 日本機械輸出組合

	2012年9月	2012年10月	2012年11月	最近の経済動向
世界	-APEC ウラジオ会合 保護主義自制、FTAAP の実現、環境 54 品目関税「0」 -ドバイ原油 11 日 111.6 ドル、27 日 107.5 ドル -8 月:世界半導体売上 3.2%減	-G7、経済減速回避で連携、IMF、世界経済減速懸念 -GDP:IMF12 年:世界 3.3 日 2.2 米 2.2 ヲロ 0.4 独 0.9 -ドバイ原油 6 日 109.4 ドル -9 月:世界半導体売上 3.9%減 -7-9 月:世界 M & A 15%減、世界パソコン出荷 8.6%減	-ドバイ原油 1 日 107 ドル、21 日 103.8 ドル	・欧州経済は信用不安で低迷、同地域向け輸出が減少。中国経済は減速も成長維持。インドネシア、インド、ベトナムは 5%以上成長、タイ堅調。米経済は消費堅調で回復傾向持続。我が国経済は輸出不振等でマイナス成長。
日本	-景気等:15-18 日尖閣諸島国有化で中国反日デモ、暴動 7-9 月:大企業景況感+2.2 改善 -財政・金融:19 日日銀追加金融緩和資産買入 10 兆円増額、終期延期 -株価:6 日 8,677、19 日 9,236、28 日 8,870 -雇用:ルネサス 7,500 人早期退職応募、8 月:失業率 4.2% 0.1 点改善 -所得:8 月:勤労者時収入 1.8%増 -消費:21 日エコ+補助金締切、8 月:消費支出 1.8%増、前月比 2.2%増、小売業販売 1.8%増、新車販売 12.4%増 38 万、住宅着工 5.5%減 -受注:8 月:工作機械 2.7%減 -生産:8 月:鉱工業 4.3%減、前月比 1.3%減中国向け減少 -貿易:28 日ドル 77.5 円、8 月:輸出 5.8%減、入 5.4%減 -投資:8 月:機械受注民需前期比 3.3%減	-GDP:7-9 月:前期比年率 3.5%減、消費 0.5 投資 3.2 輸出 5% -景気等:9 月:大企業製造業景況感マイナス 3 で 2 点悪化 -財政・金融:5 日日銀金融政策現状維持、26 日経済対策決定 7,500 億円、30 日金融緩和決定 国債買入基金 11 兆円増 金融機関貸出分に無制限融資 -株価:12 日 8,534、23 日 9,014、31 日 8,968 -物価:5 日 DRAM 最安値、デジタル家電半年で半額、 -雇用:ソニー早期退職 2,000 人、9 月:失業率 4.2%横這 -所得:9 月:勤労者時収入 1.8%増 -消費:9 月:消費 0.1%増、車販売 8.1%減、住宅 15.5%増 -受注:9 月:機械 18.6%減、工作 3%減、4-9 月:産機 24%減 -生産:9 月:鉱工業 8.1%減、前月比 4.1%減、車 12.4%減 -貿易:9 月:輸出 10.3%減、輸入 4%増 -収益:4-9 月:営業益:ダイキン 4%増、東芝 10%減、コマツ 20%減、IHI 14%減、川重 61%減、日立ハイテク 41%増、ニコン 43%減、NEC 6 倍 400 億円、純益:三菱自 2.8 倍、富士重 22%増、最終損:シャープ 4 千億円、ルネサス 1,150 億円、 -投資:7-9 月:機械受注民需 7.8%減、前期比 1.1%減	-政治:16 日衆議院解散 12/16 選挙 -株価:13 日 8,637、22 日 9,366 -雇用:シャープ早期退職 2,900 人 -所得:冬ボーナス 4.4%減 -消費:10 月:車販売 5.7%減 2 ヶ月 - -受注:10 月:工作機械 6.7%減 -貿易:10 月:輸出 6.5%減、入 1.6%減 -収益:7-9 月:経常益:上場企業 8%減、製造業 21%減、4-9 月:純益:丸紅 2%増 1,053 億円、最終損:ソニー 401 億円、沖 67 億円、今 3 月期:純益:トヨタ 2.8 倍 1 兆円、日産 6%減、三井物 26%減 3,200 億円、オクマ 28%減、ハイオク 73%減、経常益:上場企業 6%増、三菱重 4%増 900 億円、ニコン 16%減 750 億円、最終益:ソニー 200 億円、最終損:パナソニック 7,650 億円、シャープ 4,500 億円、セイコーエプソン 150 億円、	(前々月)・GDP4-6 月は 0.7%増と成長を維持。失業率横這い。消費はプラスも車、住宅需要減少。輸出は欧州、中国不振で大幅減少。受注:生産減少。投資は回復傾向維持。営業益 4-6 月は大幅鈍化、自動車、重電、プラントは回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は低位上下。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP7-9 月は 3.5%減とマイナス。失業率横這い。消費は横這。車減少、住宅回復兆し。輸出は欧州、中国不振で大幅減少続く。受注・生産も大幅減少。投資も減少傾向。経常益 7-9 月はマイナスへ、自動車、産業機械は回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は回復傾向。 景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海 10 日 2117、18 日 2065、16 日 2110 -中国:8 日 12 兆円公共投資認可(鉄道、港、道路)、15 日尖閣国有化で反日デモ激化、8 月:製造業景況感 49.2 で 50 切る、輸出 2.7%増、輸入 2.6%減、新車販売 8.3%増 149 万台、工業生産 8.9%増 -韓国:LG・TV 用有機 EL 量産、8 月:輸出 6.2%減 -台湾:8 月:鉱工業生産 1.9%増、輸出 4.2%減 6 ヶ月 -、輸入 7.6%減、海外受注 1.5%減 -インドネシア:7 月:消費者物価 4.6%増、 -ベトナム:8 月:新車販売 34%減、12 年:GDP 5.2%下方修正 -タイ:8 月:自動車生産 37%増 21 万台 -インド:預金準備率 0.25%引下げ 4.5%へ、6 月:輸出 9.5%減、	-株価:上海 9 日 2094、19 日 2129、31 日 2057 -アジア GDP:12 年:アジア 6.1、中国 7.7、インド 5.6、インドネシア 6.3、マレーシア 4.6、フィリピン 5.5、タイ 5.2、ベトナム 5.1 -中国:9/30-10/7 日国慶節、9 月:製造業景況感 49.8 前月比 0.6 点上昇、輸出 9.9%増、輸入 2.4%増、対中直接投資 6.8%減、小売 14.1%増、車販売 1.8%減 8 ヶ月ぶり -、7-9 月:GDP 7.4%、前期比 2.2%増、純益:大企業 7.8%増、TCL 29%減、最終損:ZTE 248 億円、1-9 月:工業 10%増 -韓国:11 日、政策金利 0.25%引下げ 2.75%へ、9 月:輸出 1.8%減、輸入 6.1%減、7-9 月:GDP 前期比 0.2%増、投資 4.3%減、輸出 2.5%増、営業益:サムスン 91%増 5,700 億円過去最高、LG 電子 150 億円、現代自 3%増、現代重 35%減 -台湾:9 月:輸出 10.4%増 7 ヶ月ぶり +、鉱工業生産 3%増 3 ヶ月 +、7-9 月:純益:TSMC 62%増 1,350 億円、HTC 79%減、最終益:イサー 1.9 億円、最終損:友達 450 億円 -ベトナム:9 月:鉱工業 9.7%増、車販売 9%増、7-9 月:GDP 5.35% -タイ:18 日政策金利 0.25%引下げ 2.75%、9 月:車 53%増 -シンガポール:7-9 月:GDP 0.3%増 -マレーシア:7-9 月:GDP 5.2%内需増、輸出 3%減 -インド:9 月:新車販売 4%増、卸売物価 7.8%	-株価:上海 5 日 2109、21 日 2001 -中国:7-9 月:純益:レノボ 13%増、格力 57%増、三一重 66%減、10 月:製造業景況感 50.2、0.4 点上昇、輸出 11.6%増、工業生産 9.6%増、小売売上 14.5%増、新車販売 5.3%増 160 万台、1-10 月:固定資産 20.7%増 -韓国:9 日金利据置、輸出 1.1%増 -台湾:7-9 月:GDP 1%増 2 四半期ぶり +、純益:UMC 24%増、広達 19%増、アスス 43%増、最終損:奇美 101 億円、10 月:輸出 1.9%減、受注 3.2% -インドネシア:賃上げ要求高まる、9 月:新車販売 28%増、7-9 月:GDP 6.2%増、消費 5.7%増、10 月:消費者物価 4.6% -タイ:18TPP 参加、7-9 月:GDP 3%増 -インド:31 日預金準備率引下げ、7-9 月:11%増 310 億円、10 月:車販売 27%増 31 万台、インフレ率 7.45%	(前々月)・中国は 7-9 月 GDP 7.4%、投資・消費高水準維持、車販売急減、輸出底打、株価低迷。韓国、輸出、投資減少、消費で成長維持、企業好業績。台湾、輸出底打、生産低迷、企業業績明暗。インドネシア、マレーシア、タイ経済好調。ベトナム 5%台成長もインフレ。シンガポールはマイナス成長。インド、5%台成長に鈍化、車販売は回復傾向、輸出不振、生産低迷、物価再び上昇傾向 (前・今月)・中国は 7-9 月 GDP 7.4%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出回復傾向、株価低迷。韓国、輸出、投資横這、消費で成長維持、企業好業績。台湾、輸出、生産底打傾向、企業業績明暗。インドネシア、マレーシア、ベトナム経済好調。タイ 3%台に減速。シンガポールは横這い。インド、5%台成長に鈍化、車販売は回復傾向、輸出不振、生産低迷、物価再び上昇傾向

北米	<p>-景気: 28日地区連銀、春からの生産減速に一服感、8月: 製造業景況感 49.6、0.2ポイント低下、</p> <p>-財政・金融: 1日FRB 必要なら追加緩和、14日FRB: QE 3導入決定、住宅担保証券買入月 3.1兆円際限無</p> <p>-株価: NYダウ 5日 13,047ドル、21日 13,635ドル、28日 13,417ドル</p> <p>-物価: 8月: 住宅価格 2%増</p> <p>-雇用: ワールド 4千人解雇、HP 2千人追加削減、8月: 失業率 8.1% 0.2ポイント低下、雇用 9.6万人増加</p> <p>-所得: 8月: 個人所得前月比 0.1%増</p> <p>消費: 8月: 個人消費前月比 0.5%増、小売売上高 4.7%増、前月比 0.9%増、新車販売 19.9%増日本車好調、新築住宅販売 27.7%増、住宅着工 29%増前月比 2.3%増</p> <p>-受注: 8月: 耐久財 5.5%増前月比 13.2%減</p> <p>-生産: 8月: 鉱工業前月比 1.2%減</p> <p>-貿易: 8月: 輸出 1.6%増、輸入 1.7%減</p> <p>-収益: 6-8月: 最終損: マイクロン 188億円、RIM 182億円、</p>	<p>-GDP: 7-9月: 前期比年率 2%増、消費 2%、住宅 14.4%増、設備投資 1.3%減、輸出 1.6%減</p> <p>-景気: 11日地区連銀、一般的に緩やかに拡大</p> <p>-財政・金融: 25日FOMC 金融緩和策据置、12年度: 財政赤字 1兆ドル超(16%減)4年連続</p> <p>-株価: NYダウ 5日 13,630ドル、12日 13,317ドル、16日 13,551ドル</p> <p>-雇用: 12日、アライド 1300人削減、9月: 失業率 7.8% 0.3ポイント改善、11万人増</p> <p>-所得: 9月: 個人所得前月比 0.4%増</p> <p>消費: 9月: 個人消費前月比 0.8%増、小売売上高 5.4%増、新車販売 12.8%増日本車好調、住宅着工 42.9%増、新築販売 27.1%増、</p> <p>-受注: 9月: 耐久財前月比 9.9%増</p> <p>-生産: 9月: 鉱工業前月比 0.4%増</p> <p>-貿易: 9月: 輸出 3.8%増、輸入 1.5%増</p> <p>-収益: 7-9月: 純益: 主要 500社 1%減、GE 8%増 2,760億円、IBM 0.4%減、38億ドル 3年ぶり -、インテル 14%減、30億ドル、TI 30%増、ケルコム 20%増 12.7億ドル、スマホ、ゲーグル 20%減、マイクロソフト 22%減、フォード 1%減、キャピラー 49%増 1,360億円、ホーキング 6%減、最終損: AMD 1.5億ドル</p>	<p>-7日オバマ大統領再選</p> <p>-景気: 10月: 製造業景況感 51.7、0.2ポイント上昇</p> <p>-財政・金融: 14日FRB ゼロ金利 16年初めまでの可能性大、債務上限年内到達</p> <p>-株価: NYダウ 6日 13,245ドル、15日 12,542ドル、23日 13,010ドル</p> <p>-雇用: 15日 TI 1700人削減、10月: 失業率 7.9%、0.1ポイント悪化 17万人増</p> <p>消費: 10月: 主要小売売上 5%増、新車販売 6.9%増 109万台、住宅着工 3.6%増危機前水準へ</p> <p>-生産: 10月: 鉱工業前月比 0.4%減 2ヶ月ぶり -</p> <p>-収益: 8-10月: 純益: シスコ 18%増 1660億円、デル 47%減 380億円 パソコン減少、最終損: HP 68.5億ドル不正経理</p>	<p>(前々月)・GDPは4-6月 1.3%増で12期連続+。失業率低下も高水準。車・住宅販売高水準で個人消費は堅調。投資は回復傾向。輸出は鈍化。生産は鈍化傾向。企業収益 4-6月 6%増で12期連続+も鈍化、企業により斑模様。株価は回復傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。雇用拡大が課題</p> <p>(前・今月)・GDPは7-9月 2%増で13期連続+。失業率高水準横這い。車・住宅販売高水準もやや減速、個人消費は堅調。投資は回復傾向もやや減速。輸出は鈍化。生産は鈍化傾向。企業収益 7-9月 1%減で13期ぶりにマイナス、企業により斑模様。株価はやや低下傾向。</p> <p>高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。雇用拡大が課題</p>
欧州	<p>-景気等: 27日ギリシャ、スペインで反緊縮運動、8月1-0景況感 86.1、1.8ポイント低下5ヶ月 -</p> <p>-財政・金融: 7日ECB 南欧国債無制限買支え合意</p> <p>-株価: 英 FTSE 5日 5,657、14日 5,915、27日 5,779</p> <p>-雇用: フリップス 14年迄に 6,700人削減、8月: 失業率: 1-0 11.4%最悪、スペイン 25.1%</p> <p>-消費: 8月: 小売売上高: 1-0 1.3%減、独 0.8%減、仏 0.3%増、英 4.5%増、スペイン 2.1%減、ポーランド 0.3%減、新車販売: 欧州 8.9%減、独 4.7%減、仏 11.4%減、英 0.1%増、伊 20.2%減、蘭 15%減、スペイン 3.4%増、ポーランド 7.7%減</p> <p>-生産: 8月: 鉱工業: 1-0 2.9%減、独 1.6%減、仏 0.3%増、英 0.6%減、伊 5.2%減、蘭 1.8%減、スペイン 3.2%減、ポーランド 1.6%増</p> <p>-貿易: 8月: ユーロ圏輸出 10%増、輸入 1%増 9月: ユーロ圏輸出 1%増、輸入 4%減</p>	<p>-GDP: 7-9月: 1-0 0.6%減、独 0.9、仏 0.1%、英 0、蘭 1.4%減、伊 2.4%減、スペイン 1.6%減、</p> <p>-財政・金融: 8日、欧州安定メカニズム(ESM)発足、資金 5千億ユーロ新たな支援に適用、</p> <p>-株価: 英 FTSE 5日 5,871、10日 5,776、16日 5805</p> <p>-雇用: 9月: 1-0 11.6%、0.1ポイント上昇、戦後最悪、独 5.4、仏 10.8、蘭 5.4、伊 10.8、スペイン 25.8、ポーランド 10.1</p> <p>-消費: 9月: 小売売上高: 1-0 0.8%減、独 0、仏 3、英 4、蘭 3.6、スペイン 12.6%減、ポーランド 0.5%減、新車販売: 1-0 11%減、独 11%減、仏 17.9%減、英 8.2%増、伊 25.7%減、蘭 27.7%減、スペイン 36.8%減、ポーランド 10.7%減</p> <p>-生産: 9月: 鉱工業: 1-0 2.3%減、独 1.6%減、仏 2.4%減、英 2.6%減、蘭 1%減、伊 4.8%減、スペイン 7%減、</p> <p>-収益: 7-9月: 純益: タイムラー 14%減 1,100億円、BMW 16%増、フィアット 40億円、シーメンス 4%増 1,230億円、フリップス 2.3倍 170億円、北米、新興国、最終損: ノキア 1千億円</p>	<p>-GDP: 12-13年: 1-0 0.4%減 0.1%増、独 0.8 0.8、仏 0.2 0.4、伊 2.3%減 0.5%減、スペイン 1.4%減 1.4%減</p> <p>-財政・金融: 9日ECB 政策金利 0.75%で据置、英 0.5%で据置</p> <p>-景気等: 10月: 1-0景況感 84.5% 0.7ポイント低下</p> <p>-株価: 英 FTSE 6日 5,884、16日 5,605、21日 5752</p> <p>-消費: 10月: 新車販売: 欧州 5%減 93.5万台、独 0.5%、仏 7.8%減、英 12.1%、伊 12.4%減、スペイン 21.7%減、ポーランド 2.2%減</p>	<p>(前々月)・GDP 4-6月はマイナス成長。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少続く。輸出は二桁増維持。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、株価は低迷もやや回復傾向。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP 7-9月は二期連続でマイナス。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少続く。輸出は1%増に減速。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、株価は低迷続く。</p> <p>信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-トルコ: 12年: GDP 3~4%</p>		<p>-エジプト: IMF 3800億円支援融資</p>	<p>・主要国経済は政変沈静化で回復の兆し。太陽光、電力、水、石化プロジェクトに復興需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル: 8月: 新車販売 32%増 40.5万台</p>	<p>-ブラジル: 11日、基準金利 0.25%引下げ 7.25%へ、1-9月: 自動車販売 4%増、278万台</p> <p>-メキシコ: GDP 3.3%増鈍化(4-6月 4.4%増)</p>	<p>-ブラジル: 10月: 新車販売 22%増 34万台</p>	<p>・ブラジル経済は金融引締緩和で自動車等消費を中心に回復の兆し。メキシコ経済はやや減速も堅調に推移。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア: 13日政策金利 0.25%引下げ年 8.25%へ</p>	<p>-ロシア: 7-9月: GDP 2.9%増鈍化(4-6月 4%増)消費・投資に陰り、小売 4.4%増</p>	<p>-ロシア: 10月: 新車販売 5%増 25.3万台</p>	<p>・ロシアは石油価格の高止まりも輸出やや減速、投資、新車販売等内需堅調も経済成長やや減速。持続的回復が課題。</p>